

ペン剣基金生徒用要項

「本基金は、昭和23年卒業生の安田喜八郎氏により寄贈された資金をもとに、本学園の質の高い教育の維持・発展に資する事を目的として設立されたものです」

1. 研究内容について

本基金設立の趣旨を生かした、本学園の活性化につながる創造性豊かな研究内容であれば、理系，文系，その他分野は問わない。部・同好会，グループ研究，個人研究のいずれも受け付ける。

2. 研究活動期間について

原則として単年度すなわち学年の終了までであるが、本学園在学期間に限り、再度申請することで次年度に継続する事もできる。

3. 研究発表の場について

研究成果は途中経過も含め、公的出版物に掲載する。生徒会発行や学園発行の出版物，文化祭などでの発表も可である。

4. 助成対象機材などについて

機材・図書などは、研究活動に特化したものに限る。汎用の文具やパソコン，部活動などで購入できるもの等は申請できない。取材や発表のための経費（旅費，拝観料，資料購入費等）は請求できる。

5. 機材・図書の帰属について

本基金の助成で購入した機材・図書は原則、学園に帰属する。従って研究が終了した時点でしかるべき学園各部署に返還する。それまで適切な管理運用が必要である。

6. 窓口専任教職員依頼について

窓口となる専任教職員は、研究にかかわる生徒を掌握し、研究の進展，会計処理等を責任ある立場で見守る。従って、研究の趣旨をよく理解していただき、実行性のある計画を提示して依頼しなければならない。

7. 経費の受け取り，会計および会計報告について

- ・経費は領収書を整え，窓口専任教職員の捺印を受け，事務局担当者に申請する。
- ・納品業者を通す場合は，納品書・請求書に窓口専任教職員の捺印を受け，事務局担当者に預ける。
- ・前借を必要とする場合は窓口専任教職員に依頼する。
- ・会計の締めは2月末日までに行い，窓口専任教職員の監査を受ける。

*応募用紙その2使途内訳について

いわゆる予算に当たるものであるが，計画段階では細部までは問わない。それぞれ概算でよい。ただし，高額の機材・図書（単価3万以上）など事前に判っているものは金額を入れる。

助成される金額は，会計の締めで計上された額（実際にかかった費用）である。

ペン剣基金応募用紙その1

研究題目										
窓口教職員	印									
研究者・団体 ◎団体代表者										
研究計画	開始	平成	年	月	日	終了	平成	年	月	日
内容										
主な活動場所										
機材等管理について										
研究発表の場										
書類受付 平成 年 月 日	備考				校長	事務長	ペン剣 委員会			
審査助成決定 平成 年 月 日										

